

自：平成27年4月1日

至：平成28年3月31日

平成27年度事業報告書

社会福祉法人健善富会

明和輝保育園

《運営面》

0歳児のスタート数は、例年の通りの数となった。又今年度は入・退園者が多かった。後半は幼児の退園者が重なり総数が減ってしまった。又開園してから13年が経過したこともあり、園内外とも修理箇所が増え修理費がかかってしまった。

園児数

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
定員	9	15	16	17	17	17	90
現員4月	5	20	20	19	18	21	103
現員3月	11	19	20	18	16	17	101

《保育内容》

昨年度入職した職員も3年目を迎え、0～2歳児は更に丁寧な保育についての理解を深められるよう幼児に於いては遊びの内容が充実するようクラス別に話し合いを重ねた。

又吉本先生来園の際（7月・10月・2月）保育内容の不明な点について詳しく伺い、職員研修にて全員に周知するよう内容を報告した。

《行事について》

秋まつり・・・今年度は真生保育園から明和輝保育園への渡御だった。引き渡し側と受け入れ側とで時間のズレがある為、時間の設定に苦慮した。

ゲームは前年度と変わらず、水風船・くじ・わなげ・ボウリング、食品はジュース・ゼリー・麩のシュガーラスク（保育園で人気のおやつ）を提供した。

流れはスムーズに出来た。

ファミリースポーツデイ・・・

動物にちなんだテーマ引用した絵本「どうぶつえんのおいし屋さん」

昨年度より競技数を増やしたが、かけっこ・親子競技・体育発表・保護者競技・卒園児競技などやまぼうし保育園の内容を参考に、環境認識に繋がる内容を考えた。

尚今後もCDなどの音楽を流さずに行う方針。

子ども劇場・・・開園以来今年度が初めての、子ども達による発表会となった。

子ども達が好きな絵本の内容を何度も読み聞かせしたり、素ばなしをしているうちに子ども達同士でセリフを暗記して、クラスでミニ劇場を行うようになった。

依って今回は台本無しで発表した。最後にやまぼうし保育園の内容を参考にして、「こきりこ節」を年長さんがゆかたを着て太鼓を叩きながら踊り締めくくった。

劇：つき組年長「おおきなかぶ」つき全体「おおかみと七ひきのこやぎ」
たいよう年長「わたしのワンピース」たいよう全体「バルバルさん」
唄は2クラスともわらべうたの発表を全体で行った。

流れはスムーズで予定より早めに終わった。

餅つき大会・・・

力士を招待しての開催が3年目となり、餅の販売とお相撲さんと遊ぶ時間との流れも忙しい中スムーズに行えたが、明和は最初の為、身支度を行う関係でもうすこし時間を頂けると有難いです。

あきまつり



ゲーム



お神輿ワッショイ!



たべものコーナー

ファミリースポーツデイ



どんどんなげよう



年長親子競技



サーキット



年中親子競技

子ども劇場



わたしのワンピース



おおかみと七ひきの
こやぎ



バルバルさん



こきりこ

餅つき大会



もちつき



お相撲さんと
あそぼう!



餅を丸める

《研修について》

絵本の研修は年度初めに福音館より編集部の方が来て行った。

わらべうたの知念直美先生が数年ぶりに来て下さり3園合同で1泊2日の研修を行った。

その他、同じくわらべうたの高橋先生には年2回来て頂き、職員の認識も深まったと思う。

保育に関する研修は、毎月職員会議の後に行っている。

積木研修は3園合同で2回実施。(6月 榛村友秀先生、11月 脇淵爾朗先生)

《その他》

11月には、保育課依頼の現場研修を行った。

毎年、公立15か所・民間8か所が交代で選ばれ、園の保育を参観し討議を行うものです。

準備として、参観のテーマを決めパンフレットを作成し、何度かリーダーと話し合い当日に臨んだ。

質疑応答では、園長・主任・清水聖子が参加し法人の保育内容についての認識を確かなものに出来たと思う。

環境認識と食育とを関連したものとして、梅干し・梅ジュース・バター作りを行った。

幼児の行事として、親子遠足(千葉どうぶつ公園)・社会見学(成田ゆめ牧場)・観劇会(劇団風の子)・いもほりを実施した。